

大分市地域まちづくりビジョン

大分地域ビジョン会議 通信 第3号

発行：大分地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。


地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営等々諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内13地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第3回大分地域ビジョン会議



■平成29年11月16日(木)19:00~
■大分市民センター第3会議室

開会
一、会長あいさつ
二、議事
1 第2回ビジョン会議の整理
(大分地域ビジョン会議通信の説明)
2 グループワーク
まちづくりのコンセプトとりまとめ
まちづくりの方向性について
まちづくり事業の検討

三、その他
閉会

グループワークの流れ

テーマ1 ビジョン(コンセプト)を導く

テーマ2 SWOT分析によるまちづくり事業を導く

成果発表

- ①SWOT図の説明(加筆修正)
 - ・SWOT図の内容を見直し加筆修正作業を行う。
- ②まちづくりの方向性を踏まえ、SWOT分析による事業の抽出
- ③SWOT対象図
 - ・事業の抽出とともに該当する地点を図面上に落とす作業を行う。
- ④まちづくり事業一覧による事業化の可否の確認
 - ・考案者が班のメンバーに事業の趣旨を説明し、メンバーの合意を得る。

まちづくりビジョン図に書き込まれた文章を読んで相応したビジョン(コンセプト)にシールを貼り投票を行います。



テーマ1 第2回ビジョン会議で各班が導いたビジョン(コンセプト)(案)について参加委員の皆さんの投票により一つのビジョン(コンセプト(案))に導きました。

コンセプト(案)
『愛してる みんなのまち おおざい』.....4票
~安全で明るく楽しいまちづくり~

『魅力あるみんなで作る元気なまち~Machi』.....8票
投票結果:共通ビジョン(コンセプト)(案)として
『魅力あるみんなで作る元気なまち~Machi』を導きました。



案名	1票	2票	3票	4票	5票	6票	7票	8票	9票	10票
『愛してる みんなのまち おおざい』										
『魅力あるみんなで作る元気なまち~Machi』										

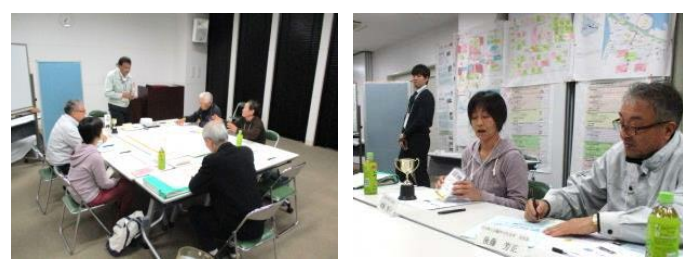
テーマ2 ①SWOT分析によるまちづくり事業を導く
これまでのビジョン会議で出された意見の整理を行ったSWOT図を見直し加筆修正を行いました。

- 1班(世代がいっぱい班)加筆修正項目 [() 内 S:強み W:弱み O:機会 T:脅威]
- ・桜がキレイ(S)
 - ・水のある環境(川・海・堤)(S)
 - ・③恵まれた緑地帯の存在 4kmにわたる緩衝緑地帯は大分の宝であり活用すべき!(追加S)
 - ・松林の整備活用 →法の解決が必要(O)
 - ・緩衝緑地帯は脅威にもなりうる(T)
 - ・堤(ため池)崩壊が心配(T)



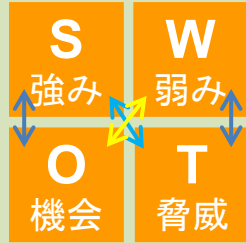
	プラス要因	マイナス要因
強み(S)	水のある環境(川・海・堤)	
弱み(W)		学校施設が足りない
機会(O)	③恵まれた緑地帯の存在	
脅威(T)		堤(ため池)崩壊が心配

- 2班(福スポ班)加筆修正項目 [() 内 S:強み W:弱み O:機会 T:脅威]
- ・学校施設が足りない(W)
 - ・教育環境の地区間バランス不足(W)
 - ・(屋外・屋内)スポーツ施設と福祉施設の複合施設が欲しい(O)
 - ・(福祉)文化スポーツを兼ねた大型施設が欲しい(O)



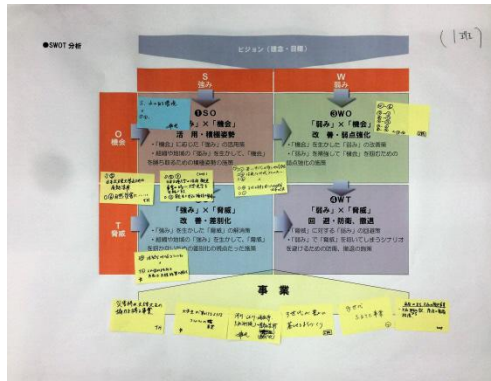
	プラス要因	マイナス要因
強み(S)		
弱み(W)		学校施設が足りない
機会(O)	(屋外・屋内)スポーツ施設と福祉施設の複合施設が欲しい	
脅威(T)		

- ② まちづくりの方向性を踏まえ、SWOT 分析による事業の抽出
- ③ SWOT 対象図に事業の抽出と共に該当する地点を図面に落としていきました。



- ①SO「S:強み」×「O:機会」(活用・積極姿勢)
- ・「機会」に応じた「強み」の活用策
 - ・組織や地域の「強み」を生かして、「機会」を勝ち取るための積極姿勢の施策
- ②ST「S:強み」×「T:脅威」(改善・差別化)
- ・「強み」を生かした「脅威」の解消策
 - ・組織や地域の「強み」を生かして、「脅威」を招かないための差別化の視点にたった施策
- ③WO「W:弱み」×「O:機会」(改善・弱点強化)
- ・「機会」を生かした「弱み」の改善策
 - ・「弱み」を補強して「機会」を掴むための弱点強化の施策
- ④WT「W:弱み」×「T:脅威」(回避・防衛、撤退)
- ・「脅威」に対する「弱み」の回避策
 - ・「弱み」で「脅威」を招いてしまうシナリオを避けるための防衛、撤退の施策

1班 (世代がいっぱい班)



抽出された事業

- ①大学生が動けるようなコミュニティ事業 (SxT)
- ②3世代が豊かに暮らせるまちづくり (WxO)
- ③多世代ふるさと事業 (SxO)
- ④災害時の文理大生の協力を得る事業 (SxO)
- ⑤平成のまち大在の観光事業 (SxO)
- ⑥河川、江川、海岸線、ため池 (堤) →有効活用 (SxO)



2班 (福スポ班)



抽出された事業

- ①公園で自由に市民が楽しめるようにステージ付きの公園が欲しい (野外ステージで音楽を聞いたりイベントで使える施設が欲しい) (WxO)
- ②南側の高台へ総合文化 (スポーツ) 施設を建設 (WxO)
- ③高齢者と子どもと一緒に集える場所づくり (SxO)
- ④大在東部に小中一貫校を整備新設する
加えて災害時の避難にも活用できる (SxT)
- ⑤学校施設の整備事業 (WxT)



- ④まちづくりアイデアを導き出した考案者が班のメンバー及び市職員と共に話し合い事業を導き出した。
成果発表: 班の導いた事業の主要なポイントを発表しました。

【1班 (世代がいっぱい班)】

①大学生が活動できるコミュニティ事業、②3世代が豊かに暮らせるまちづくり、③多世代ふるさと事業、④災害時の文理大生の協力を得る事業、⑤平成のまち大在の観光事業、⑥河川・江川・海岸線・ため池、水の有効活用した事業ということで6項目出ています。①と④は文理大学を活かしていこうという考えでリンクしている。②③は多世代、3世代でなにかやれないかということを考えてものです。あとは観光と、水のこと。河川の話ですが、もちろん住みやすい環境はそうすけれども、ここに住み続けたいと誇りに思っているのだとすると、こういう話はとてもすてきなと感じました。

桜をうまく活用したり、海をうまく使ったり、もちろん水をうまく使うという、いろんなものが融合していきまちなって行くのだと思うのですが、これをしたからあれがよかった、あれがあったから、これが行われた、という風な相乗効果が生まれたら一番いいのかなというふうに思っています。

番号	事業名	6つの対策						SWOT戦略		対象エリア	事業化	コメント
		①	②	③	④	⑤	⑥	●	○			
①	大学生が動けるようなコミュニティの事業	●	●					●	○	全体	●	・大学生が子どもや大人とのふれあい (コミュニティ) の場をつくる ・大在の歴史などを伝えている大人から子どもたちに伝えていきたい ・実際大在でお祭りの手伝いや、子どもに歴史を伝えている
②	3世代が豊かに暮らせるまちづくり	●	●	●	●	●	●	●	○	全体	●	・若者が帰ってきたり残りたくなる、大在のブランド作り ・働く場所がない →雇用が見込めない企業誘致が必要だがうまくいかない ・生活基盤を支えるまちづくり
③	多世代ふるさと事業	●	●					●	○	全体	●	・世代間交流や人材育成がおこなわれるまち ・誇れるような街にする ・人が帰ってきたい、住み続けたいまちにすること
④	災害時の文理大生の協力を得る事業	●	●					●	○	全体	●	・文理大の学生に自然災害時に手助けしてもらえらる組織づくり →組織に入れば、下世代が安くなるなど (大学や市の援助で) ・地域の交流が深まり、活性化されるのでは
⑤	平成のまち大在の観光事業		●	●	●	●	●	●	○	全体	●	・観光事業に力を入れ、大在を「平成のまち」にする ・バスで大在地域を巡ってもらう →道の駅を作ったり、三井造船や文理大学の見学など ・商店街が活気づく事業があれば (長期スパンで)
⑥	河川、江川、海岸線、ため池 (堤) →有効活用		●	●	●	●	●	●	○	●	●	・住む人が誇りや希望をもてるまちづくり ・大在の地理的環境を活かす →親水化が大事 ・江川に遊歩道の設置、昔の海岸線を残している部分を活かす、釣り場をつくるなど ・自然災害対策で避難場所も必要



【2班 (福スポ班)】

①公園で自由に市民が楽しめるようなステージ付きの公園がほしい。野外ステージで音楽を聴いたり、イベントに使える施設が欲しいということです。具体的な場所としては、大在公園の活用です。ステージがないのであそこにステージを設け、屋根を付けて、ステージと観覧席にもドームテントがついている、雨天でも使えるような施設が欲しいという意見です。②南側の高台へ総合文化施設を作してほしい。スポーツと文化の多目的なものです。地図を見ますと立石付近に非常に広い土地があります。バイパス沿いに福祉とスポーツを兼ね備えた施設があるとスポーツの大在ということではないのでしょうかと思います。③高齢者と子どもと一緒に集える場所づくりというのはソフトな面ですね。公園とか、児童館とか地域の中にたくさんあると思います。そういうところでお互いに触れ合える場所を、ソフトを整備してコミュニティを作りたいという意見です。これは非常に可能性がある面白い意見だと思います。④と⑤は同じような内容です。喫緊の課題として、小中一貫校を整備新設する。災害時は避難場所に活用できる大規模校を新設という意見です。人口増加が見込まれています。それに対処するためにもここに施設をつくりたい。地図で見るとよくわかりますが、西地区には、2つ小学校があって、東地区は何もないです、早急に施設を作りたいと思っています。

番号	事業名	6つの対策						SWOT戦略		対象エリア	事業化	コメント
		①	②	③	④	⑤	⑥	●	○			
①	公園で自由に市民が楽しめるようにステージ付きの公園が欲しい (野外ステージで音楽を聞いたりイベントで使える施設が欲しい)	●						●	○	●	●	・公園でイベントを実施するとき設備が不足して不便 ・大在には子どもから高齢者まで使える公園が多い ・公園にステージをつけるなど様々なイベントに活用できるように →音楽など
②	南側の高台へ総合文化 (スポーツ) 施設を建設		●	●				●	○	●	●	・避難場所、スポーツ施設がない ・津波からの避難場所として大在の南側の高台に
③	高齢者と子どもと一緒に集える場所づくり	●	●					●	○	全体	●	・共働きの家庭が多く、子どもがひとりぼっちの時間が長い →地域の子と高齢者が集える場所ができたらいいのでは
④	大分市東部に小中一貫校を整備新設する 災害時の避難にも活用できる		●	●				●	○	●	●	・東部の人口増加が見込める ・山川海があり、災害対策が必要
⑤	学校施設の整備事業		●	●				●	○	●	●	・東部に学校施設が必要 (大在小と西小が近くバランスが悪い) →横断の子が帰るのに一時間ほどかかっている。子どもも増え続けている。 ・地域の署名運動で13000人ほどの署名をもらった →地域にニーズがある ・別府湾が震源になったとき、危険を感じる手段がなく帰宅に1時間かかっていると危ない →大在東部の子どもが逃げる場所が必要

